

令和4年度 シラバス

教科名	国語	科目名	現代文 B	履修学年	第3学年
単位数	2単位 (理系)	使用教材	高等学校 改訂版 現代文 B	第一学習社	
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高める。 ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を身につける。 				
履修上の注意点	<ul style="list-style-type: none"> 辞書（電子辞書も可）を持参し、語彙の意味を進んで調べる。 日常生活での読書の幅を広げ、視野の拡大を図る。 				
学期	時期	単元名	学習内容		
1	中間 調査 まで	<ul style="list-style-type: none"> バグダットの靴磨き (小説) 未来世代への責任 (評論) 	<ul style="list-style-type: none"> ○小説というイメージの喚起力に優れているジャンルで具体的な戦争の持つ悲惨さについて考察を深める。 ○文章全体の論理的な構成を把握させる。 ○筆者の考えを的確に理解し、自分の考えを深める。 		
	期末 調査 まで	<ul style="list-style-type: none"> 骰子の七の目 (小説) 身体の個別性 (評論) 	<ul style="list-style-type: none"> ○SF風の小説構成で、私たちが良識と思っていることにゆさぶりをかけるやや奇想天外な内容をしっかりとつかみ、私たちにとっての良識とは何かについて考察を深める。 ○具体例によって示される事柄が、どのような抽象概念を説明しているか把握する。 		
2	中間 調査 まで	<ul style="list-style-type: none"> コスモポリタニズムの可能性 (評論) 幼なじみたち (小説) 	<ul style="list-style-type: none"> ○評論の文章構成を正確に把握し、筆者の主張を理解する。 ○コスモポリタンであることの重要性を理解する。 ○人生が深まりゆくにつれて、それぞれ異なる経験をした人たち、またその経験にどう対処していくのかについて考察を深める。 		
	期末 調査 まで	<ul style="list-style-type: none"> 舞姫 (小説) 	<ul style="list-style-type: none"> ○近代文学の嚆矢となるこの作品を通して、近代の黎明期だけでなく、今なお受け継がれている問題点について考察していく。 ○擬古文であり、難解な漢語が多用されているのに伴う読み難さをプリントで補いながら的確な内容把握に努める。 		
3	学年 末 調査 まで	<ul style="list-style-type: none"> 言語活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分でテーマを決め、それについて調べたことをまとめ、発表する。 		
評価 方法	① 知識及び技能 (70点)	② 思考力、判断力、表現力等 (15点)	③ 学びに向かう力、人間性等 (15点)		
	定期 調査 等	課題 作文 スピーチ 班別 学習 成果 等	提出 物 小 テ ス ト 等		

令和4年度 シラバス

教科名	国語	科目名	古典B	履修学年	第3学年
単位数	2単位(理系)	使用教材	精選古典B 新版 東京書籍		
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> ・古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解する。 ・古典の作品や文章について内容と解釈を自分自身の経験に結びつけ、考えを深める。 				
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・古文単語325の持参。辞書、便覧等の活用とともに、探求と考察を大事にすること。 ・受け身ではなく積極的に授業に参加する。 				
学期	時期	単元名	学習内容		
1	中間 考查 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・十訓抄 成方といふ笛吹き ・発心集 蓮花城、入水のこと ・詩 李白と杜甫 	<ul style="list-style-type: none"> ○段落ごとの内容を正確に読み取り、説話の面白さを味わう。 ○説話のテーマについて考える。 ○漢詩の形式、句法に注意して唐を代表する2大詩人の漢詩を鑑賞する。 		
	期末 考查 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・紫式部日記 女郎花 ・十六夜日記 駿河路 ・源氏物語 萩の上露【御法】 ・荊軻伝 史記 	<ul style="list-style-type: none"> ○本文の表現から日記文学の特徴を捉える。 ○和歌から詠み手の心情を理解する。 ○場面状況を把握し、文章の内容を展開に即して的確に捉える。 ○登場人物の心情の動きを的確に把握する。 ○描かれた登場人物の心理葛藤を理解し、歴史の面白さ、人間の生き方を考察する。 		
2	中間 考查 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・古今和歌集仮名序 やまと歌は・六歌仙 ・無名抄 おもて歌のこと ・源氏物語玉の小櫛 もののはれの論 ・桃花源記 	<ul style="list-style-type: none"> ○和歌の本質がどのように捉えられていたのかを考える。 ○評論文が提議する問題点を整理し、結論を読み取る。 ○筆者の述べる物語を読む意義を整理してまとめる。 ○平安時代の歌人たちが和歌をどのように理解していたのかを考える。 ○描かれた世界観を理解する。 		
	期末 考查 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・落窪物語 姫君の苦難 ・夜の寝覚 夢に琵琶を教ふる人 ・無名草子 清少納言 紫式部 ・売油翁 唐宋八大家 	<ul style="list-style-type: none"> ○登場人物の心情を理解する。 ○話し手が考える清少納言と紫式部の人物像を把握する。 ○描かれたものの見方を理解し、考察する。 		
3	学年 末考 査ま で	<ul style="list-style-type: none"> ・去来抄 ・三冊子 	<ul style="list-style-type: none"> ○俳諧についてその文学性を考える。 		
評価 方法	① 知識及び技能 (70点)		② 思考力、判断力、表現力等 (15点)		③ 学びに向かう力、人間性等 (15点)
	定期考查等		課題作文 スピーチ 班別学習成果等		提出物 小テスト等

令和4年度 シラバス

教科名	地理歴史	科目名	地理 B	履修学年	第 3 学年
単位数	2 単位	使用教材	教科書：新詳地理 B（帝国書院） 地図帳：詳解現代地図 副教材：スタディノート地理 B（数研出版） フォトグラフィア地理図説（東京法令出版）		
科目目標	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
履修上の注意点	・学習の基本は授業である。集中して取り組むこと。 ・ノート、課題等の提出物を提出する。				
学期	時期	単元名	学習内容		
1	中間 検査 まで	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分 2章 現代世界の諸地域	・地域区分とは何か ・地域の考察方法 ・東アジア		
	期末 検査 まで	2章 現代世界の諸地域	・東南アジア ・南アジア ・西アジアと中央アジア		
2	中間 検査 まで	2章 現代世界の諸地域	・北アフリカとサハラ以南のアフリカ ・ヨーロッパ ・ロシア		
	期末 検査 まで	2章 現代世界の諸地域	・アングロサクソン ・ラテンアメリカ ・オセアニア		
3	学年 末 検査 まで	3章 現代世界と日本	・日本が抱える地理的な諸問題 ・日本の抱える課題の追究		
評価 方法	① 関心・意欲・態度		② 地理的な見方・考え方		③ 表現・処理
	④ 知識・理解		③ 表現・処理		④ 知識・理解
	出席状況等	10点	小テスト等	15点	ノート等 15点
					定期・課題検査等 60点

令和4年度 数学Ⅲ シラバス

教科名	数学		科目名	数学Ⅲ
履修学年	第3学年		類型等	理型
単位数	5単位	使用教材	教科書：数学Ⅲ 改訂版（数研出版） 副教材：REPEAT 数学Ⅲ（数研出版）	
科目目標	複素数，式と曲線，関数，極限，微分法及び積分法についての理解を深め，知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに，それらを積極的に活用する態度を育てる。			
履修上の注意点	授業内の時間を有効利用すること。 予習復習に努め、確認テストに臨むこと。			
学期	時期	単元名	学習内容	
1	中間 考查 まで	第1章 複素数平面 第2章 平面上の曲線 1. 2次曲線 2. 媒介変数表示と極座標	<ul style="list-style-type: none"> 複素数を複素数平面上に図示したり，平面図形の性質を調べる際に用いることができる。 方程式を用いて2次曲線を表すことができる。また，いろいろな曲線を媒介変数や極座標を用いて表すことができる。 	
	期 末 考 査 ま で	第3章 関数 第4章 極限 1. 数列の極限 2. 関数の極限	<ul style="list-style-type: none"> 合成関数や逆関数を求めることができる。 無限数列や無限級数の収束，発散を調べることができる。 いろいろな関数の極限を調べることができる。また，関数の極限の性質や連続性の概念を理解する。 	
2	中間 考 査 ま で	第5章 微分法 1. 導関数 2. いろいろな関数の導関数 第6章 1. 導関数の応用 4. いろいろな応用	<ul style="list-style-type: none"> 微分法の概念を理解し，微分の公式を導くことができる。合成関数や逆関数の微分法を用いていろいろな関数を微分することができる。 微分法を利用して，曲線の接線や法線の方程式を求め，関数のグラフをかきすることができる。 	
	期 末 考 査 ま で	第7章 積分法とその応用 1. 不定積分 2. 定積分 3. 積分法の応用	<ul style="list-style-type: none"> 不定積分と定積分の性質を理解し，微分との関係についての考え方や概念を理解する。 置換積分法，部分積分法を用いていろいろな関数の積分を求めることができる。 	
3	学 年 末 考 査 ま で	数学Ⅲの復習	<ul style="list-style-type: none"> 微分，積分の概念を統合して理解し，問題を解くことができる。 	
評価 方法	① 関心・意欲・態度 (10)点	② 数学的な見方や 考え方 (20)点	③ 表現・処理 (30)点	④ 知識・理解 (40)点
	・提出物等	・小テスト等	・定期考査等（記述式）	・定期考査等（マーク）

令和4年度 数学総合Ⅰ シラバス

教科名	数学		科目名	数学総合Ⅰ	
履修学年	第3学年		類型等	理型	
単位数	3単位	使用教材	改訂版 リンク数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B 受験編 approach + basic+challenge+development (数研出版)		
科目目標	既習の数学的な基礎的知識や技能の再確認をしつつ更なる習得を図る。また、事象を数学的に考察する能力を伸ばし、それらを活用する積極的な態度を育て、数学的理論をさらに深める。				
履修上の注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の基本は授業である。常に真剣な気持ちで取り組むこと。 ・分からないものは教科書や参考書で確認する。 ・分かっていないものを決してそのままにしないこと。友人や教師に質問する。 ・問題演習はまず自力で解くこと。 				
学期	時期	単元名		学習内容	
1	中間 考查 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・数と式 (数学Ⅰ) ・2次関数 (数学Ⅰ) ・図形と計量 (数学Ⅰ) ・データの分析 (数学Ⅰ) ・場合の数と確率 (数学A) ・整数の性質 (数学A) ・図形の性質 (数学A) 		数学Ⅰ・Aの復習 受験に向けての基礎知識の定着を図る。	
	期末 考查 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・数と式 (数学Ⅰ) ・2次関数 (数学Ⅰ) ・図形と計量 (数学Ⅰ) ・データの分析 (数学Ⅰ) ・場合の数と確率 (数学A) ・整数の性質 (数学A) ・図形の性質 (数学A) 			
2	中間 考查 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・数と式 (数学Ⅰ) ・2次関数 (数学Ⅰ) ・図形と計量 (数学Ⅰ) ・データの分析 (数学Ⅰ) ・場合の数と確率 (数学A) ・整数の性質 (数学A) ・図形の性質 (数学A) 		数学Ⅰ・Aの発展的内容 教科書レベルの問題から、入試レベル、発展的な問題を解けるようにする。	
	期末 考查 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・数と式 (数学Ⅰ) ・2次関数 (数学Ⅰ) ・図形と計量 (数学Ⅰ) ・データの分析 (数学Ⅰ) ・場合の数と確率 (数学A) ・整数の性質 (数学A) ・図形の性質 (数学A) 			
3	学年 末考 査ま で	<ul style="list-style-type: none"> ・総合問題 (数学ⅠA) 		数学Ⅰ・Aの発展的内容 教科書レベルの問題から、入試レベル、発展的な問題を解けるようにする。	
評価 方法	① 関心・意欲・態度 (10)点		② 数学的な見方や 考え方 (20)点		③ 表現・処理 (10)点
	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート課題 ・提出物等 		<ul style="list-style-type: none"> ・確認テスト等 		<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト等
				④ 知識・理解 (60)点	
				<ul style="list-style-type: none"> ・考査等 	

令和4年度 英語の探究 シラバス 理型

教科名		外国語	科目名	英語の探究	履修学年	第3学年
単位数		2単位	使用教材	『SPOTLIGHT 長文+文法で展開する総合問題集』（数研出版） 『TACTICS10 共通テスト英語 リーディングオリジナル問題集』（桐原書店）		
科目目標		<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの音読や様々な表現活動を行いながら、英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、様々なジャンルの英文を読むことで国際理解の態度を養う。 ・長文、文法、英作文、リスニング問題の演習を通して英語の4技能（reading, writing, listening, speaking）の力を総合的にアップする 				
履修上の注意点		<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間十分に予習をして授業に臨むこと。 ・出された課題は丁寧に取り組み、期日までに仕上げること。 ・授業でのペアワーク、音読活動、課題、発表等には積極的に取り組むこと。 				
学期	時期	学習単元名			学習内容（目標）	
1	中間 考查 まで	『SPOTLIGHT』 LESSON1 時制 リニア中央新幹線の問題点 LESSON2 助動詞 人間関係と幸福の度合い LESSON3 受動態 熱帯雨林の危機 『TACTICS 10』 第1回～第4回			<ul style="list-style-type: none"> ●問題演習で本文の内容理解を深め、音読練習によって英語表現や重要事項の定着を図る。 ●SV、時制、助動詞、受動態に習熟し、進路希望の実現に必要な力を養う。 ●実践的な問題に取り組み、入試に備える。 	
	期末 考查 まで	『SPOTLIGHT』 LESSON4 不定詞 若者の鬱とテレビの関係 LESSON5 動名詞 笑いは最良の薬である LESSON6 分詞 ヒートアイランド現象 LESSON7 比較1 アメリカにおける現代の子育て 『TACTICS 10』 第5回～第9回			<ul style="list-style-type: none"> ●問題演習で本文の内容理解を深め、音読練習によって英語表現や重要事項の定着を図る。 ●不定詞、動名詞、分詞、比較に習熟し、進路希望の実現に必要な力を養う。 ●実践的な問題に取り組み、入試に備える。 	
2	中間 考查 まで	『SPOTLIGHT』 LESSON8 比較2 インターネットの普及と盗用 LESSON9 関係詞1 ローマ字表記 LESSON10 関係詞2 世界における子どもの名づけ方 『TACTICS 10』 第10回～第14回			<ul style="list-style-type: none"> ●問題演習で本文の内容理解を深め、音読練習によって英語表現や重要事項の定着を図る。 ●比較表現、関係詞に習熟し、進路希望の実現に必要な力を養う。 ●実践的な問題に取り組み、入試に備える。 	
	期末 考查 まで	『SPOTLIGHT』 LESSON11 仮定法1 恒星について LESSON12 仮定法2 スティーブ・ジョブズとアップル社 LESSON13 否定 ロンドンオリンピックの環境的成果 LESSON14 注意すべき構文 少女に買ってあげたバラ 『TACTICS 10』 第15回～第19回			<ul style="list-style-type: none"> ●問題演習で本文の内容理解を深め、音読練習によって英語表現や重要事項の定着を図る。 ●仮定法、否定などに習熟し、進路希望の実現に必要な力を養う。 ●実践的な問題に取り組み、入試に備える。 	
3	学年末 考查 まで	『SPOTLIGHT』 LESSON15 名詞・代名詞 ロンドン公認運転手の知識と脳 『TACTICS 10』 第20回～第21回			<ul style="list-style-type: none"> ●問題演習で本文の内容理解を深め、音読練習によって英語表現や重要事項の定着を図る。 ●名詞、代名詞に習熟し、進路希望の実現に必要な力を養う。 ●実践的な問題に取り組み、入試に備える。 	
評価 方法	① 外国語理解の能力 (60点)	② 外国語表現の能力 (10点)	③ コミュニケーションへの関 心・意欲・態度(思考、判断) (20点)	④ 言語や文化についての知 識・理解 (10点)		
	・定期考查等	・課題への取り組み等	・ノート提出 ・参加点	・小テスト等		

* 学年末考查は実施しない。

令和3年度 数学総合Ⅱ シラバス

教科名	数学		科目名	数学総合Ⅱ	
履修学年	第3学年		類型等	理型	
単位数	3単位	使用教材	改訂版 リンク数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B 受験編 approach + basic+challenge+development (数研出版)		
科目目標	既習の数学的な基礎的知識や技能の再確認をし、更なる習得を図る。また、事象を数学的に考察する能力を伸ばし、それらを活用する積極的な態度を育てる。 数学Ⅱ、数学Bで既習の公式や定理を利用して、大学入学共通テストや、受験問題を解けるようにする。				
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の基本は授業である。常に真剣な気持ちで取り組むこと。 ・分からないものは教科書や参考書で確認する。 ・分かっていないものを決してそのままにしないこと。友人や教師に質問する。 ・問題演習はまず自力で解くこと。 				
学期	時期	単元名	学習内容		
1	中間 考査 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・式と証明, 複素数と方程式(Ⅱ) ・図形と方程式(Ⅱ) ・三角関数(Ⅱ) ・指数関数・対数関数(Ⅱ) ・微分積分(Ⅱ) ・平面ベクトル(B) ・数列(B) 	数学Ⅱ・Bの復習 受験に向けての基礎知識の定着を図る		
	期末 考査 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・式と証明, 複素数と方程式(Ⅱ) ・図形と方程式(Ⅱ) ・三角関数(Ⅱ) ・指数関数・対数関数(Ⅱ) ・微分積分(Ⅱ) ・空間ベクトル(B) ・数列(B) 			
2	中間 考査 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・式と証明, 複素数と方程式(Ⅱ) ・図形と方程式(Ⅱ) ・三角関数(Ⅱ) ・指数関数・対数関数(Ⅱ) 	数学Ⅱ・Bの発展的内容 教科書レベルの問題から、入試レベル、発展的な問題を解けるようにする。		
	期末 考査 まで	<ul style="list-style-type: none"> ・微分法と積分法(Ⅱ) ・数列(B) ・ベクトル(B) 			
3	学年 末考 査ま で	<ul style="list-style-type: none"> ・総合問題(ⅡB) 	数学Ⅱ・Bの発展的内容 教科書レベルの問題から、入試レベル、発展的な問題を解けるようにする。		
評価 方法	① 関心・意欲・態度 (10)点		② 数学的な見方や 考え方 (25)点	③ 表現・処理 (20)点	④ 知識・理解 (45)点
	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート課題 ・課題提出等 		<ul style="list-style-type: none"> ・確認テスト等 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト等 	<ul style="list-style-type: none"> ・考査等

令和4年度 シラバス

教科名	理科	科目名	物理	履修学年	第3学年			
単位数	4単位	使用教材	数研出版改訂版物理、リードLightノート物理、(実践アクセス総合物理)					
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> ・物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理 ・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。 							
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・持参物：教科書、問題集、授業ノート ・物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深める。 ・物理量の単位や測定値の有効数字に注意をして計算をする。 ・実験をした内容と物理の基本原則・法則を関連づけて理解する。 							
学期	時期	単元名		学習内容				
1	中間 考査 まで	第1編 第4章 円運動と万有引力 等速円運動、慣性力、単振動、万有引力 第2編 第1章 気体のエネルギーと状態変化 気体の法則、気体分子の運動、気体の状態方程式 第3編 第1章 波の伝わり方 正弦波、波の伝わり方		物体の衝突や分裂における運動量の保存を理解する。 衝突についてはね返りについて理解する。 円運動や単振動する物体の様子を表す方法や物体に働く力について理解する。 惑星の運動に関する法則や万有引力の法則について理解する。				
	期末 考査 まで	第2章 音の伝わり方 音の伝わり方、音のドップラー効果 第3章 光 光の性質、レンズ、光の干渉と回折 第4編 第1章 電場 静電気力、電場、電位、物質と電場、コンデンサー		気体分子の運動や気体の状態変化について理解する。 波や音・光の伝わり方や、回折と干渉について理解する。 電荷による力や電界と電位の関係について理解する。 コンデンサーの性質を理解する。				
2	中間 考査 まで	第2章 電流 オームの法則、直流回路、半導体 第3章 電流と磁界 磁場、電流が作る磁界、電流が磁界から受ける力 ローレンツ力 第4章 電磁誘導と電磁波 電磁誘導の法則		電気回路について理解する。 電流が作る磁界や、電流が磁界から受ける力について理解する。 電磁誘導と交流について、現象や法則を理解する。 電磁波について、性質とその利用を理解する。				
	期末 考査 まで	交流の発生、自己誘導と相互誘導、交流回路 第5編 第1章 電子と光 電子、光の粒子性、X線 粒子の波動性 第2章 原子と原子核 原子の構造とエネルギー準位 原子核		電子の性質や、電子と光の粒子性と波動性について理解する。 原子の構造及びスペクトルと電子のエネルギー準位に関係について理解する。				
3	学年 末考 査 まで	放射線とその性質 核反応と核エネルギー 素粒子と宇宙		原子核の崩壊及び核反応について理解する。 素粒子の存在について知る。 物理学が新しい科学技術の基盤となっていることを理解する。				
評価方法	① 関心・意欲・態度 (20) 点		② 思考・判断・表現 (10) 点		③ 観察・実験の技能 (10) 点		④ 知識・理解 (60) 点	
	・提出物等 20点		・小テスト等 10点		・レポート等 10点		・考査等 60点	

令和4年度 シラバス

教科名	理科	科目名	生物	
履修学年	第3学年	類型等	理型(生物重視)	
単位数	4単位	使用教材	教科書:生物 改訂版(啓林館) 副教材:九訂版スクエア最新図説生物(第一学習社) リードα 生物基礎+生物(数研出版)	
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生物と遺伝子の関係性について学習し、生物体の成り立ちや生命を維持する共通の原理を理解し、生命現象を分子レベルでとらえることができるようにする。 ・生物の体内環境の維持について学習し、生物は外部環境の変化に対応して、安定した内部環境を維持したり、成長や器官の分化を調節したりすることを理解する。 ・生物の多様性と生態系について学習し、生物を集団のレベルでとらえて生物と環境のかかわりについて理解する。 			
履修上の注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・持参物：ノート、資料集、授業プリント ・配布プリントはノートに貼り、整理し管理すること。 			
学期	時期	単元名	学習内容	
1	中間 考査 まで	第1部 生命現象と物質 第1章 生命と物質 第2章 代謝 第3章 遺伝現象と物質	<ul style="list-style-type: none"> ・生命の基本単位である細胞は物質できており、細胞のはたらきに伴う化学反応は物理や化学の法則に従って進行していることを学ぶ ・生物が外界から物質を取り入れて分解したり、新たな物質を合成したりして生きていることを学ぶ。 ・遺伝子の本体であるDNAの構造、遺伝情報の複製・転写・翻訳の仕組み、そして遺伝子発現の調節の仕組みを学ぶ。 	
	期末 考査 まで	第2部 生殖と発生 第1章 有性生殖と染色体の分離 第2章 動物の生殖と発生 第3章 植物の生殖と発生	<ul style="list-style-type: none"> ・植物と動物の生殖の方法の違いを様々な生殖の仕組みを比較しながら把握する。 ・動物の組織や器官がどのような仕組みで形成されていくのかを学ぶ。 ・植物の配偶子形成と受精、胚形成と花器官の分化について学ぶ。 	
2	中間 考査 まで	第3部 生物の環境応答 第1章 刺激の受容と反応 第2章 動物の行動 第3章 植物の環境応答	<ul style="list-style-type: none"> ・外界の刺激に対して生物がどのように応答し行動するのか、その仕組みについて学ぶ。 	
	期末 考査 まで	第4部 生物の進化と系統 第1章 生物の進化 第2章 進化とそのしくみ 第3章 生物の系統	<ul style="list-style-type: none"> ・生物が進化してきたことやその道筋について学ぶ。 ・進化はどのように裏付けられているのかということとその仕組みについて学ぶ。 ・生物の分類の方法、系統を明らかにする方法現在の生物の系統について学ぶ。 	
3	学年 末 考査 まで	第5部 生態と環境 第1章 個体群と生物群集 第2章 生態系	<ul style="list-style-type: none"> ・個体群レベルから順にそれぞれの段階で繰り返される生物の様々な営みと環境との関係について学ぶ。 	
評価 方法	① 関心・意欲・態度 (20)点	② 思考・判断・表現 (10)点	③ 観察・実験の技能 (10)点	④ 知識・理解 (60)点
	・提出物等 20点	・課題考査等 10点	・レポート等 10点	・考査等 60点

令和4年度 シラバス

教科名		理科		科目名	化学			
履修学年		第3学年		類型等	理 型			
単位数	4 単位	使用教材	教科書：新編化学（東京書籍） 副教材：セミナー化学基礎+化学(第一学習社)、スクエア最新図説化学(第一学習社)、 ニューステップアップ化学(東京書籍)、レットライノット化学有機化合物(東京書籍)					
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> ・無機物質の性質や反応を探究し、元素の性質が周期表に基づいて整理できることが理解できるとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。 ・有機化合物の性質や反応を探究し、有機化合物の分類と特徴が理解できるとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。 ・高分子化合物の性質や反応を探究し、合成高分子化合物と天然高分子化合物の特徴が理解できるとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。 							
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・持参物：東京書籍 化学、授業ノート ・配布プリントは整理し管理すること。 							
学期	時期	単元名		学習内容				
1	中間 調査 まで	第1章 非金属元素の単体とその化合物 1 元素の分類と性質 2 水素と希ガスの化合物 3 ハロゲンとその化合物		<ul style="list-style-type: none"> ・元素の分類を理解する。 ・水素とその化合物について、性質や用途を学習する。 ・希ガスについて、性質や用途を学習する。 ・ハロゲンとその化合物について、性質や用途を学習する。 				
	期末 調査 まで	第2章 非金属元素の単体とその化合物 5 酸素・硫黄とその化合物 6 窒素・リンとその化合物 7 炭素・ケイ素とその化合物 第3章 典型金属元素の単体とその化合物 1 アルカリ金属と2族元素のその化合物 2 亜鉛・水銀・アルミニウム・スズ・鉛とその化合物 第4章 遷移元素の単体とその化合物 1 鉄・銅・銀・クロム・マンガンとその化合物 2 金属イオンの定性分析		<ul style="list-style-type: none"> ・酸素・硫黄とその化合物について、性質や用途を学習する。 ・窒素、リンとその化合物について、性質や用途を学習する。 ・炭素、ケイ素とその化合物について、性質や用途を学習する。 ・アルカリ金属とその化合物について、性質や用途を学習する。 ・2族元素とその化合物について、性質や用途を学習する。 ・亜鉛、水銀とその化合物について、性質や用途を学習する。 ・アルミニウムとその化合物について、性質や用途を学習する。 ・スズ、鉛とその化合物について、性質や用途を学習する。 ・鉄・銅・銀とその化合物について、性質や用途を学習する。 ・クロム、マンガンとその化合物について、性質や用途を学習する。 ・金属イオンの定性分析について学習する。 				
2	中間 調査 まで	第5章 有機化合物の特徴と構造 1 脂肪族炭化水素 2 酸素を含む脂肪族化合物 3 油脂とセッケン 第6章 芳香族化合物 1 芳香族炭化水素 2 酸素、窒素を含む芳香族化合物 3 芳香族化合物の分離		<ul style="list-style-type: none"> ・有機化合物の化学式を決定するまでの過程を学習し、その原理を理解する。 ・アルカン、アルケン、アルキンについて、その性質や用途を学習する。 ・アルコール、エーテル、アルデヒド、ケトン、カルボン酸、エステルについて、その性質や用途を学習する。 ・油脂、セッケンについて、その性質や用途を学習する。 ・フェノール類、芳香族カルボン酸、芳香族ニトロ化合物、芳香族アミン、アゾ化合物について、その性質や用途を学習する。 ・芳香族化合物の分離の原理を理解する。 				
	期末 調査 まで	第7章 天然高分子化合物 1 単糖と二糖 デンプンとセルロース 2 アミノ酸とタンパク質 第8章 合成高分子化合物 1 合成樹脂と合成繊維		<ul style="list-style-type: none"> ・単糖、二糖について、その構造や性質を学習する。 ・α-アミノ酸について、その構造や性質を学習する。 ・デンプンとセルロースについて、その構造や性質を学習する。 ・タンパク質について、その構造や性質を学習する。 ・合成樹脂と合成繊維について、その構造や性質、用途を学習する。 				
3	学年 末 調査 まで	第9章 機能性高分子化合物 1 核酸 2 合成ゴム		<ul style="list-style-type: none"> ・DNA、RNAについて、その構造や性質を学習する。 ・機能性高分子について、その構造や性質、用途などを学習する。 ・天然ゴムについて、その構造や性質を学習する。 				
評価 方法	① 関心・意欲・態度 (20) 点		② 思考・判断・表現 (10) 点		③ 観察・実験の技能 (10) 点		④ 知識・理解 (60) 点	
	・提出物等 20点		・小テスト等 10点		・レポート等 10点		・考査等 60点	

令和4年度 シラバス

教科名	保健体育	科目名	体育	履修学年	第3学年
単位数	2単位	使用教材	現代高等保健・ステップアップ高校スポーツ 2020		
科目目標	① 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう自ら進んで運動し、公正・協力・責任などの態度を身に付ける。 ② 自己やグループの能力や運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え工夫し、必要な技能や体力を高めるために運動の合理的な行い方を身に付ける。 ③ 選択した運動種目の技術やルールなどの理解を深める。 ④ 現代社会におけるスポーツの意義や必要性を理解し、生涯にわたる豊かなスポーツライフを設計し実践していく方法を身に付ける。				
履修上の注意	① 領域に応じた服装で受講する。 ② 学習ノートの提出を行う。 ③ 運動制限等がある者は別の課題を行い評価を受ける。見学する際は見学届けを記入し、提出する。 ④ 球技については、同じ種目を選択することはできない。				
学期	時期	単元名	学習内容		
1	中間 考査 まで	・体づくり運動 新体力テスト 球技① ネット型：テニス、バレーボール ゴール型：サッカー、 バスケットボール ベースボール型：ソフトボール 武道：柔道 ダンス 以上から1種目選択	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、心と体をほぐしたり、体力を高めたりする方法を学ぶ。 球技：作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームを展開できるようにする。 ダンス：感じをこめて踊ったり、仲間と自由に踊ったりできるようにする。 武道：技の名称や見取り稽古の仕方について学ぶ。技を高めて安全に取り組む。		
	期末 考査 まで	・体育理論	・スポーツの歴史や文化的特性について触れ、スポーツの意義や価値を理解する。		
	2	中間 考査 まで	球技② ネット型：テニス、卓球、 バドミントン ゴール型：バスケットボール ベースボール型：ソフトボール 武道：柔道 ダンス 以上から1種目選択	球技：作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームを展開できるようにする。 ダンス：感じをこめて踊ったり、仲間と自由に踊ったりできるようにする。 武道：技の名称や見取り稽古の仕方について学ぶ。技を高めて安全に取り組む。	
3	学年 末 考査 まで	球技③ ネット型：テニス、卓球、 バドミントン ゴール型：バスケットボール ベースボール型：ソフトボール 武道：柔道 ダンス 以上から1種目選択	球技：作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームを展開できるようにする。 ダンス：感じをこめて踊ったり、仲間と自由に踊ったりできるようにする。 武道：技の名称や見取り稽古の仕方について学ぶ。技を高めて安全に取り組む。		
方法	① 関心・意欲・態度 (25)点		② 思考・判断 (25)点		③ 運動の技能 (25)点
	・主体性 10点 ・協調性 10点 ・安全性 5点		・ノート提出等 25点		・技能テスト等 25点
				④ 知識・理解 (25)点	
				・レポート等 25点 (技術の名称や行い方)	

令和4年度 コミュニケーション英語Ⅲ シラバス 理型

教科名	外国語	科目名	コミュニケーション英語Ⅲ	履修学年	第3学年
単位数	3単位	使用教材	BIG DIPPERⅢ（教科書、ベーシックノート、ワークブック）		
科目目標	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な題材の英文を読み、要旨をつかめるようになる。 ・読み聞きして得た知識を、他者に話したり、書いたりして、自分の言葉で表現できる。 				
主な学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み、教科書やベーシックノートの問題を活用し、理解する。 ・音読をすることで、スピーキング能力・リスニング能力の強化につなげる。 				
学習への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前には教科書やベーシックノートを用いて必ず予習をしてくる。 ・ペアワークやグループ活動には積極的に取り組むこと。 ・教師の説明はよく聞き必要に応じてメモを取り、より深い理解に努めること。 				
学期	時期	単元名	学習内容		
1	中間 考査 まで	BIG DIPPER Lesson 1～5	Lesson 1:歴史 Lesson 2:コミュニケーション Lesson 3:心理 Lesson 4:討論 Lesson 5:実話		
	期末 考査 まで	BIG DIPPER Lesson 6～10	Lesson 6:自然 Lesson 7:ウェブサイト Lesson 8:芸術 Lesson 9:歴史秘話 Lesson 10:リーフレット		
2	中間 考査 まで	BIG DIPPER Lesson 11～18	Lesson 11:心理 Lesson 12:科学 Lesson 13:新聞記事 Lesson 14:スポーツ Lesson 15:自然 Lesson 16:ウェブサイト Lesson 17:教育, 健康 Lesson 18:発表, 説明/図表		
	期末 考査 まで	BIG DIPPER Lesson 19～25	Lesson 19:環境, 自然 Lesson 20:言語, 文化 Lesson 21:科学, 技術 Lesson 22:歴史, 人権 Lesson 23:自然, 環境 Lesson 24:心理, コミュニケーション Lesson 25:技術, 社会		
3	学年 末考 査ま で	入試問題実践演習	入試対策		
評価 方法	①外国語理解の能力 (4技能) (60点)		②外国語表現の能力 (20点)	③コミュニケーション への関心・意欲・態 度 (10点)	④言語や文化について の知識・理解 (10点)
	・定期考査等		・課題考査等 ・小テスト等	・提出物等	・小テスト等

令和4年度 英語表現Ⅱ シラバス（理型）

教科名	外国語	科目名	英語表現Ⅱ(理型)		履修学年	第3学年
単位数	2単位	使用教材	整理と演習 英文法			
科目目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の仕方を工夫しながら伝える能力を養う。					
履修上の 注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・予習を丁寧に行い、授業に取り組むこと。 ・授業で学習した内容をしっかり復習し、既習事項の定着を行うこと。 ・授業内のペアおよびグループ活動に積極的に取り組むこと。 ・提出物は期限を厳守し、指示通りに取り組むこと。 					
学期	時期	単元名	学習内容			
1	中間 考查 まで	Lesson 1, 2, 3 Grammar for Entrance Exam 1	分の要素、動詞、時の表現、助動詞			
	期末 考查 まで	Lesson 4, 5, 6, 7 Grammar for Entrance Exam 2	受動態、不定詞、動名詞、分詞			
2	中間 考查 まで	Lesson 8, 9, 10 Grammar for Entrance Exam 3	関係詞、比較、仮定法			
	期末 考查 まで	Lesson 11, 12, 13, 14, 15, 16 Grammar for Entrance Exam 4	構文、接続詞、前置詞、名詞・代名詞・冠詞、形容詞・副詞			
3	学年末 考查 まで	Part II 実践演習	入試頻出問題			
評価 方法	①外国語理解の能力 (4技能) (60点)	②外国語表現の能力 (20点)	③コミュニケーションへの 関心・意欲・態度 (10 点)	④言語や文化について の知識・理解 (10点)		
	・定期考查等	・課題考查等 ・小テスト等	・提出物等	・小テスト等		

※『整理と演習 英文法』が予定より早く終了した場合、発展的ワークブック(詳細未定)を採用する可能性あり。